

消防指令システム部分更新/ 保守契約の適正化について

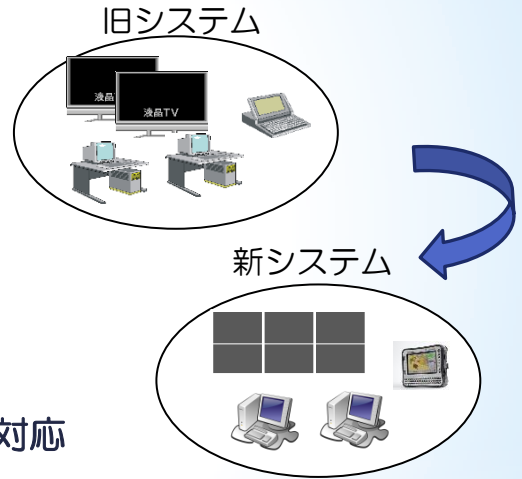


相談内容

- 業者見積りの部分（中間）更新費用
または保守費用が妥当かわからない。
- 随意契約の理由付けをしてほしい。
- 財政部局へどのように説明すればよいか
教えてほしい。



具体的な対応



1

更新機器の選定

機器の耐用年数、最新情報通信技術導入、運用面から見た最適なシステム機能等を考慮し、機器選定を行います。

2

機器仕様の検討

更新すべき機器の仕様を検討し、規格・性能・機能などの検討を行います。

3

発注仕様書の検討

公平公正な立場から各消防本部の意向に沿った発注仕様書の作成又は精査を行います。

4

必要経費の算定

機器単価、据付・調整費などを精査し、国土交通省から示されている積算基準を基本として全体更新費用を算出します。

5

保守分析評価

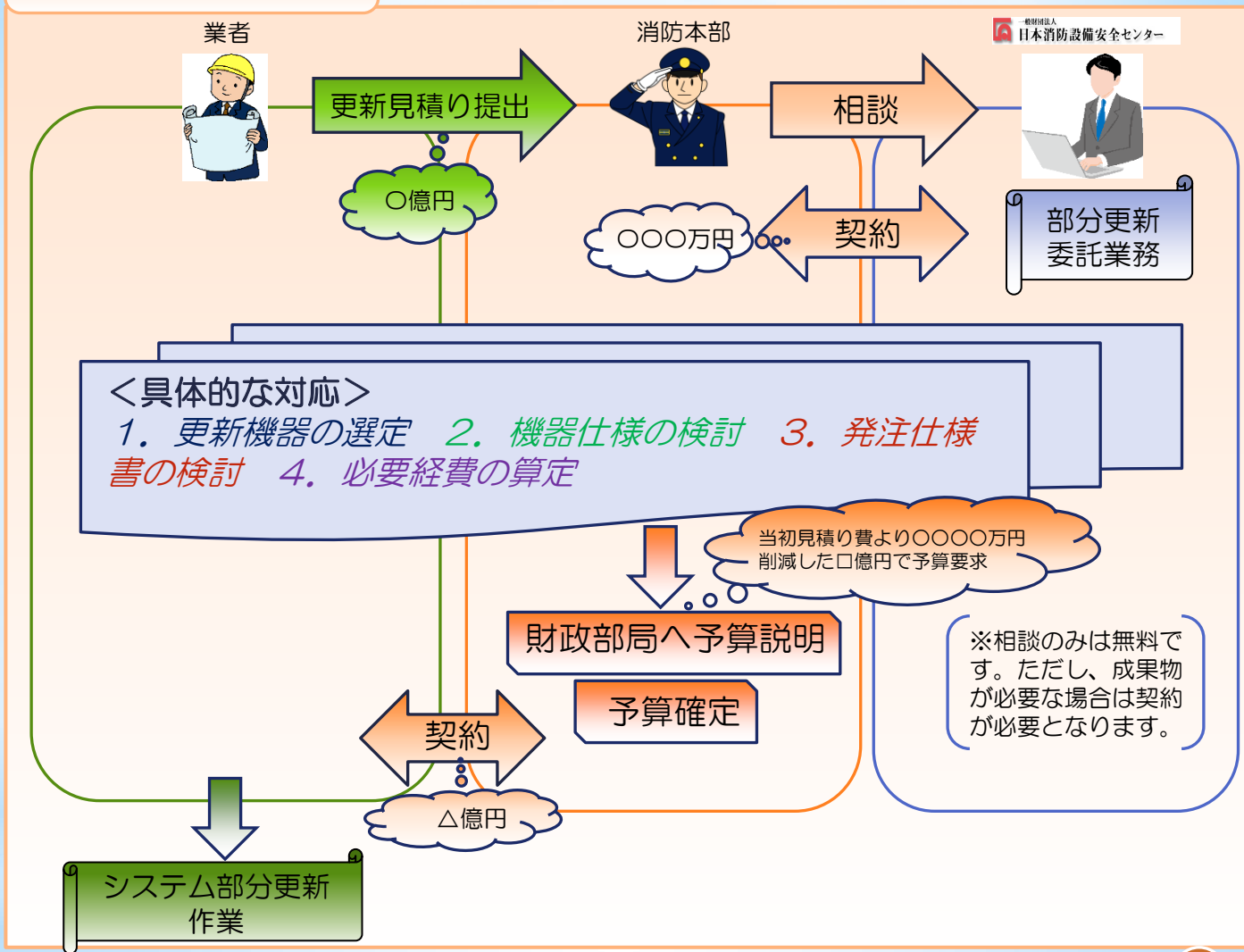
適正な費用で点検保守契約が締結されているか検証します。ただし、本業務はシステム更新時に分析評価することで効果が見込まれます。

消防本部の声



- 財政部局へ予算説明する際の資料として役立った。
- 更新機器の選定について助言してもらい参考になった。
- 更新スケジュールについて助言してもらい参考になった。
- 期日が短い中、費用をまとめてもらい助かった。

部分更新のイメージ図



部分	削減率
A消防本部 (Ⅲ型)	当初見積り費より約7%削減
B消防本部 (Ⅱ型)	当初見積り費より約35%削減
C消防本部 (Ⅱ型)	当初見積り費より約20%削減
保守	削減率
A消防本部 (Ⅱ型)	当初見積り費より約3%削減
B消防本部 (Ⅱ型)	当初見積り費より約5%削減

一般財団法人 日本消防設備安全センター

<http://www.fesc.or.jp/>

令和2年1月作成

問合せ先

一般財団法人 日本消防設備安全センター
情報通信部

伊藤 (裕) itouh@fesc.or.jp

川代 kawadai@fesc.or.jp

藤田 fujitat@fesc.or.jp

TEL 03-3501-7914